

各 位

会 社 名 G C A株式会社
代表者名 代表取締役 渡辺 章博
(コード番号: 2174 東証1部)
問合せ先 I R室リーダー 加藤 雅也
(TEL. 03-6212-7140)

業績予想の修正に関するお知らせ

2017年2月14日に公表しました2017年12月期(2017年1月1日~2017年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、2017年5月12日付「配当方針の変更および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、期末配当については一株当たり17.5円(中間配当と合わせて通期35円)を行う予定です。

また、当社は2016年7月に欧州アルティウム社と経営統合し、日・米・欧に拠点を有するグローバルM&Aアドバイザリー会社となることができ、2017年は経営統合後、初の通期決算年度となりました。経営統合は大成功であり、グローバルプラットフォームを得た欧州リージョンの業績は売上が前期比35%増と飛躍的に向上いたしました。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の理由

当期の連結業績につきまして、連結売上高は197億円とほぼ予定通りとなったものの、Non-GAAP営業利益は20億円となり業績予想に対して約16億円の減少となる見込みです。

主な要因は、米国テクノロジー関連のM&A市場が金額ベースで前期比約50%の減少となったことに加え、いくつかの案件が2018年にずれ込んだことから、米国の売上高が大幅に減少となったことによります。一方、将来への成長のため、優秀な人材を維持する最低限の人件費を減額することができませんでした。また、日本においてもM&A市場が金額ベースで前期比24%の減少となったことの影響を受けました。これらの要因から人件費が営業利益を圧迫し、欧州の業績が好調であったものの、米国の営業利益の減少を補填するまで営業利益を増額できなかったことより業績予想の修正をすることとなりました。

(2) 2017 年 12 月期の連結業績予想の修正

(2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	Non-GAAP 営業利益	Non-GAAP 経常利益	Non-GAAP 親会社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	3,600	3,600	2,400
今回修正予想 (B)	19,754	2,040	2,080	1,380
増減額 (B-A)	▲246	▲1,560	▲1,520	▲1,020
増減率 (%)	▲1.2	▲43.3	▲42.2	▲42.5
(ご参考) 前期実績 (2016 年 12 月期)	18,558	3,402	3,570	2,201

(注) 1. 上記に記載した数値はのれん償却費(約 12 億円)を控除した Non-GAAP に基づく連結業績予想であります。

2. 2017 年 2 月 14 日の公表時においては、海外事業の現地通貨建ての項目は、為替レートを 110 円 /US ドル及び 130 円/英ポンドにより円換算しておりましたが、期中平均為替レートは 112.19 円 /US ドル及び 144.52 円/英ポンドとなっております。

(3) 今後の展望

2017 年の米国 M&A 市場につきましては、減税の導入が不確定の中で、多くの案件の完了に影響がありました。2018 年は減税が確定したことから、より一層 M&A 市場が活性化することが期待されます。

当社は欧州アルティム社との経営統合後、10 カ国 15 拠点を有する真のグローバル M&A アドバイザリーファームとなり、数多くの優良な M&A 案件を手がける機会が増加しました。それらの半分以上がテクノロジー分野によるものです。IoT、AI、フィンテックをはじめとするテクノロジー分野は、今後すべての産業と密接に関連し、切り離すことができないものとなります。従い、これらのテクノロジー分野の M&A を得意とする当社にとって、今後更なる成長が見込めることとなります。当社の成長のためのエンジンは優秀な人材です。経営理念である「For Client's Best Interest」に基づき、中長期的にクライアントへ価値を提供しつづけるための優秀な人材の確保は当社の重要な経営課題です。当期に関しては人材維持を最優先した結果、上記の通りとなりましたが、当社が将来に向けて飛躍的に成長するため、株主の皆様には何卒ご理解いただきたくお願い申し上げます。

以上